

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

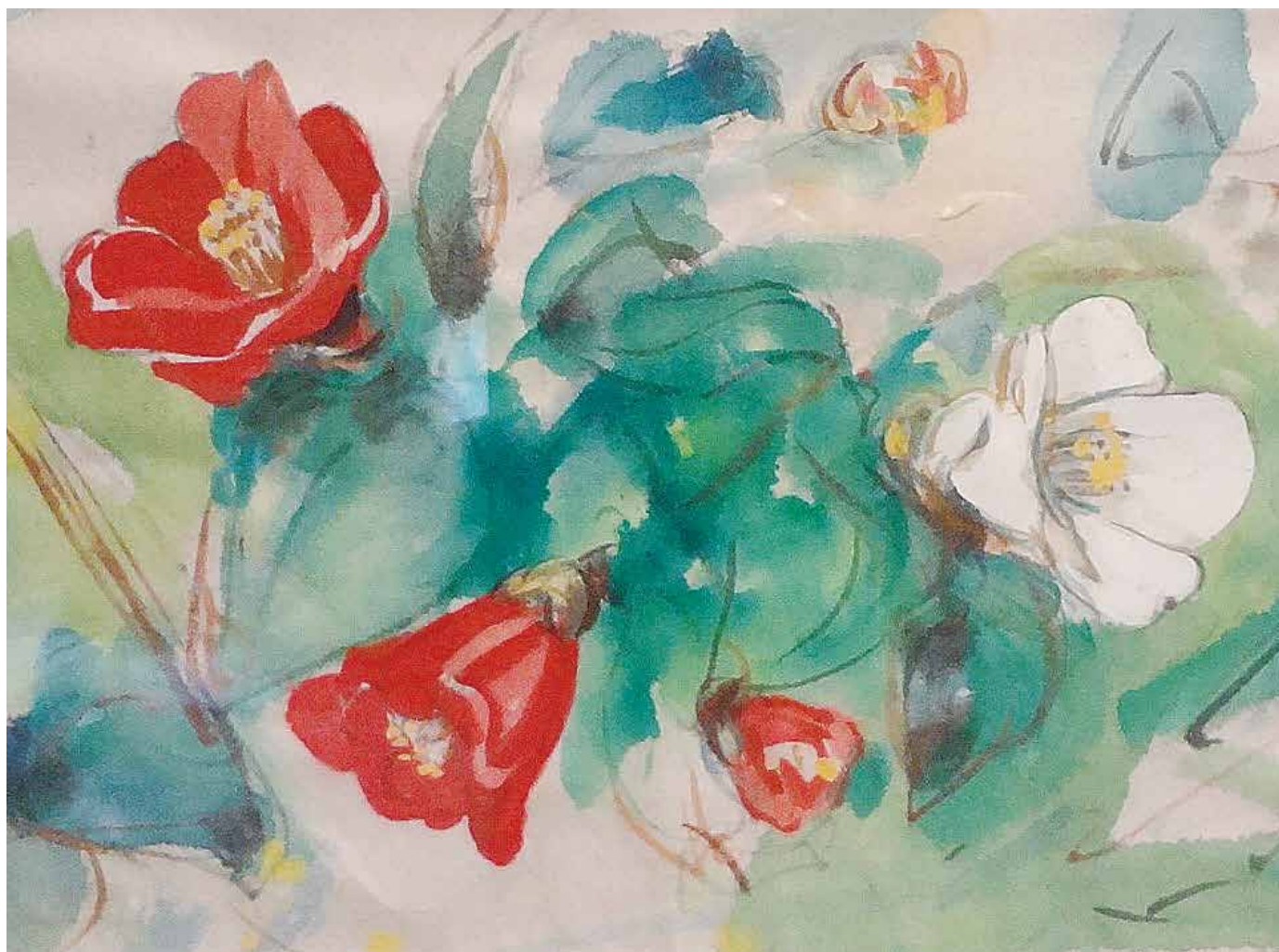
ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**106**

令和4年(2022)
1月1日発行



「紅白の椿」 祝迫正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む	1
今村 英仁	
研く 究める	2～7
令和3年度 研修会	8～13
協会だより	14
老健に入るためのご案内	15
ぶらぶらが素敵 かごしま ⁰⁶	16～17
こぼれおちたもののもの ³⁰	18
三角 みづ紀	
ふるさとフォーカス	19
ろうけん広場	20
かごしまの食卓 冬編	21
介護用品あれこれ	22～23
あなたの地域の介護老人保健施設	24～28
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曽於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「紅白の椿」	29
祝迫 正豊	
編集後記	29

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の78カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。



地域一体型の老健を目指して

鹿児島県老人保健施設協会 代表理事

今村 英仁



新型コロナウイルス禍が本格化した2020年から2年が経過し3年目に突入しようとしています。

鹿児島県では昨年の11月以降感染者ゼロの日が続くことが多く

なり、ようやく新型コロナウイルス禍も終わりに近づいたと期待を膨らませていたところで、新たな変異株のオミクロン株の出現です。まだまだ新型コロナウイルスの終焉は見

通せない状況が続いています。鹿児島県老健協会はこのような

状況下でも皆様のご協力のお陰で肅々と事業を進めることが出来ました。

2020年に皆様のご協力で構築することが出来た介護職員派遣システムによる派遣がクラスター発生時にしっかりと機能

いたしました。これも県下の老健の皆さんが一致団結して協力してくださったお陰です。鹿児島県の老健協会長として心から感謝申し上げます。

また、2021年8月の新型コロナウイルス禍第5波では鹿児島県でも医療機関のコロナ対応がギリギリのところまで追いつめられる

状況になりましたが、県下の老健ではクラスターを発生させる

ことなくしっかりと高齢のご利用者を守っていただきました。これも各老健が徹底した新型コロナ対策を行ってクラスターの発生を抑えてくださったお陰です。

この事も併せて感謝申し上げます。さて、全国老人保健施設協会

では昨年7月に新型コロナウイルス禍の老健運営に対する影響について各種稼働率をアンケート調査しました。その結果、新型コロナウイルス禍以前に比べて老健全体で2%程度の入所率低下が生じています。稼働率の低下はその他型が最も低く、超強化型になるに従って下落幅が大きくなる結果となっています。また、通所リハビリテーションで約10%、短期入所サービスでは20%以上の利用率低下が生じており、入所サービスに比べ居宅系サービスが大きな影響を受けている実態が明らかになりました。今回のアンケートでは見えてきませんが、新型コロナウイルス禍になつて在宅診療と訪問看護サービスが非常に伸びていることが明らかになっています。居宅系のサービスであっても施設に來てもらうサービスは敬遠され、利用者の生活の場に合うサービスが歓迎されたことになりました。また、稼働率は平均値で2%程度の低下ですが、ほとんど影響を受けなかったところと非常に低下したところの2極化が生じており、その平均値であることに注意しなければなり

ません。医療系のサービス（外来・入院）でも平均値では稼働率の低下がはつきりしていますが、介護サービス同様の2極化が生じていることが指摘されています。さらに老健では今回の介護報酬改定で導入されたLIFEに対応しなければ確実に介護報酬が下がります。これらのことを踏まえて今後の老健の運営を行っていかねばなりません。それでは具体的にどのような行動をしないといけないのでしょうか？

今回の新型コロナウイルス禍でもそれほど影響を受けなかった老健は、日頃から積極的に地域に出ている様々な在宅支援を行っていたところのようです。また、地域の様々なサービス機関とも連携をとっており、その地域の地域包括ケアシステムの構築に積極的に参加している老健と言えるかもしれません。

今年も鹿児島県老健協会は皆様方が地域一体型の老健として活躍出来るためのサポートを続けて参ります。どうか宜しくお願いします。

研 究 究 め る

よりよい介護をみざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

想いに寄り添う終末期支援 ～看取りケアを通して～

介護老人保健施設 きりしま（霧島市）

〈発表者〉准看護師 田島 さとみ
〈共同研究者〉フロアスタッフ

【はじめに】

病院や施設での入院期間が長く、認知症が進み食事もだんだんと少なくなり点滴をしながら過ごす日々の中で、食事形態の工夫や介助を行っても食事が摂れなくなり、家族は病院ではなく施設での生活を選び看取りケアを選択された。食事は本人の嗜好に合わせて



平成30年レク

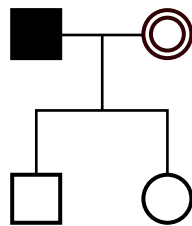
【対象者】

年齢…99歳
性別…女性
既往歴…高血圧症 アルツハイ

少しでも食べられるものを、家族の協力や栄養士と連携を図りながら、一口でも食べられる工夫をすると同時に、老健施設で出来る範囲内での点滴など施行したが、自己抜去や点滴漏れ等が繰り返していた。

家族はほぼ毎日面会され、日々弱々しくなっていくお母さまの姿に不安も大きく、職員に対し聞かれていたことが多くあったが、その都度状態を明確に伝えることによって不安軽減に努め、本人や家族に寄り添いながら看取りケアを行ってきたことについて報告します。

マ―型認知症 肺悪性腫瘍
介護度：要介護4
障害高齢者の日常生活自立度：B2
認知症高齢者の生活自立度：Ⅲb
入所期間：令和1年7月1日～
令和1年8月21日
家族構成：



【経過】

ターミナルケアを決心された家族に対し、最期まで老健で看取る覚悟の確認とスタッフの関わり方、そして現在の身体状況や予測される身体変化等を、他職種と一緒に共有しながら対応していくために、合同カンファを実施した。家族の不安や焦り、動揺等予測される気

持ちの変化に対応し、最期のひと時を静かに過ごすことができるように部屋は個室とした。

時々、痰が絡むようになり嚥下も低下していったが、スタッフは何とか「一口でも食べてほしい」という思いで食事の介助を続けた。そんな職員の姿を見て、はじめは「介助は怖い」と手を出そうとされなかった長女さんが、ある日「私も一口あげてみます」と言われ、長女さんの母を思う瞬間に出会い、職員が介助を見守るようになった。水分補給のための補液も並行して施行していたが、点滴漏れや自己抜針されることも観察され、再挿針を行う際に「余計な事するな」と本人の訴えがあり、本人の状態を見て、長女さんからは「本人が嫌がるなら止めて下さい」との訴えが聞かれることもあったため、医師より中心静脈栄養の提案も



平成30年夏祭り



平成31年雛祭り



令和元年夏祭り

あったが、苦痛となるような処置は望まれずに何とか経口で出来る範囲でという家族の意向を踏まえて水分補給のための補液は継続して、工夫して嗜好品の提供にて対応を行った。状態が落ち着いている時は特浴で入浴も実施することができたが、入浴後の体力の消耗を心配された長女さんは、スタッフに対して激しく詰め寄る場面もあり、そんな長女さんの怒りに対し、入浴前に入浴の効果など説明しなかったことへの反省をしながら関わりの難しさを感じることも

あった。
8月に入り、本人も楽しみにしていた夏祭りが3日に開催され、ベッドごと会場に移動し踊りやバンド演奏など家族と共に夏祭りの雰囲気に触れ、満面の笑みで楽しめた。
その後、徐々に体力の消耗も見られ、憔悴していくようになるが、長女さんもこの頃になると落ち着いた様子で静かに手を握り消えゆく命に向かわれるようになった。8月21日付き添っておられた長女さんより「呼吸がおかしい」と言

われ訪室すると一度大きく深呼吸され、その後ゆっくりと永眠された。
最期の湯灌も一緒にさせて下さいと長女さんが申し出られ、優しさに満ちた晴れ晴れとした表情で「良かった、ここで看取ってもらえて」と言われた言葉が印象的だった。
【考察】
病院での看取りとなると過剰な医療の提供となってしまうこともしばしば見られる。施設での看取

りは家族が付き添い、医師が毎日訪問して家庭的な環境の中で慣れたスタッフが毎日声かけや日常生活に関わっていくことで本人や家族も安心され、安らかに最期を迎えて頂けたと思う。
時として家族の気持ちに変化があり柔軟に対応ができる体制も必要であるが、しつかり各職種が意思統一を行い家族へも明確な支援方法を分かってもらえるように支援していくことが必要だと思ふ。

研 究 究 め る

よりよい介護を暮らし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

介護記録の質向上に向けた取り組み 介護記録質評価表を作成して

介護老人保健施設 コスモス苑（垂水市）〈発表者〉 介護福祉士 吉田 尚美

〈共同研究者〉 看護師 川村志乃 相談員 溝維志 介護福祉士 齋藤可恋

介護福祉士 上園千明 介護福祉士 中西めぐみ 介護士 上園茂子

【はじめに】

当施設では記録記載基準に基づき、状態変化があった際は介護記録に経時的記録を行っている。しかしそこには、観察やアセスメントが記載されておらず、継続的ケアの手段としての機能を果たしているか疑問を持った。そこでフィジカルアセスメントに基づいた介護記録記載について勉強会を開催した後に、介護記録記載の意識と介護記録の質の評価をそれぞれ行い、今後の課題を見出すことができたのでここに報告する。

【目的】

フィジカルアセスメントに基づいた記録の課題を見出す

【研究方法】

研究対象者：看護・介護入所担

当職員（1階フロア・2階フロア・やすらぎ認知フロア）

研究期間：2018年6月1日～

2019年1月5日

実施内容

(1)フィジカルアセスメントに基づいた介護記録記載についての勉強会実施

(2)発熱者に対するフィジカルアセスメント記録の実施

(3)介護記録質評価表の作成

(4)(3)の表を使用した介護記録質評価

(5)介護記録記載に関するアンケート調査

【倫理的配慮】

本発表は介護記録およびアンケート結果から匿名化された情報のみを分析して報告するものであり、研究参加者の個人情報保護

介護記録質評価表

		() 様 (開始日)							備考欄
項目	評価内容	1日目 日動、夜動	2日目 日動、夜動	3日目 日動、夜動	4日目 日動、夜動	5日目 日動、夜動	6日目 日動、夜動	7日目 日動、夜動	
アセスメント	視診・問診・触診の記載がされているか								
	バイタルサイン測定の実施があるか								
観察	症状の原因を検索するような観察内容であるか								
	観察内容に不足はないか								
報告	看護師への報告内容が記載されているか								
	医師への報告内容が記載されているか								
	報告のタイミングと内容は適切であるか								
対応・対応	実際に行われたケアが記載されているか								
	ケアに対する利用者の反応が記載されているか								
	ケアの根拠(ケアをする理由)が記載されているか								
	看護師が行った処置の内容が記載されているか (点滴・酸素・軟膏・湿布など)								
	処置に対する利用者の反応が記載されているか								
診断	処置の根拠が記載されているか								
	医師の診断内容が記載されているか								
ケア・処置後の状態観察	指示治療内容が記載されているか								
	ケア・処置後の状態観察した内容が記載されているか								
	①酸素投与後の状態・バイタルサイン								
	②解熱剤使用後の状態・バイタルサイン								
	③鎮痛剤使用後の状態・バイタルサイン								
情報共有	④その他()								
	行なったケアの方法が関わる全スタッフが見て分かるものか								
	重さ・長さ・大きさ・量など数値で表せるものを曖昧な表現をしていないか								
カンファレンスの内容が記載されているか									
監査者署名									

・介護記録移行後、1週間評価を評価期間とする。
・○×でチェックし、不要なチェック欄には斜線を引き空欄にしない。
・×をつけた場合は、備考欄に日付と理由を記入する。他、気づいた事があれば備考欄に記入する。
2018年10月作成 介護老人保健施設コスモス苑 記録委員会

については口頭で説明し承諾を得た。

【結果】

介護記録記載率50%以下の項目は医師への報告内容、ケアに対する反応、ケアを行う根拠、処置に対する反応、処置の根拠、診断内容であった。視診・問診・聴診、バイタルサイン、観察内容、報告、

指示治療の記載率が低いのは1階フロアであった。

【考察】

記載率が全体的に低い項目は、介護職員が能動的な行動がとれていない、「医師への報告内容」「診断内容」であった。医師への報告内容や診断結果を知るためには、自らカルテの指示確認や、リーダー

看護師への問いかけといった能動的な行動が必要となる。また情報提供する側の看護師も提供内容に不足があった事が考えられる。

フロア間で記載率に差が生じた理由は、1階の特性として判断が看護師主体であること、意思表示の困難な利用者が多いため問診ができていないこと、習慣的にバイタルサイン測定をしていることが挙げられる。また診断内容が未記載であるということは、疾患とそれに付随する症状をアセスメントできていないままケアを行なっており、「ケアや処置に対する根拠」の記載率が低い一因となっている可能性がある。

今後記録委員が積極的に勉強会や研修などに参加し、フィジカルアセスメントの知識を深めることで、介護記録の質向上への取り組みを推進するとともに、アンケート結果より「記録は自分達のケアの根拠、証になる」「他の人が読んでも分かりやすい記録を書きたい」という意見が得られたことにより、介護記録が「ケアの証明」「専門性の向上」「継続介護の手段」であることが意識づけられていることが分った。介護記録の質評価

を公平に行えるように、介護記録質評価表の内容を再検討に取り組んでいきたい。

【結論】

1、記載率の低かったのは、「医師への報告」「診断内容」でフィジカルアセスメントに重要な項目であり、医師、看護師との積極的な情報交換が重要である。

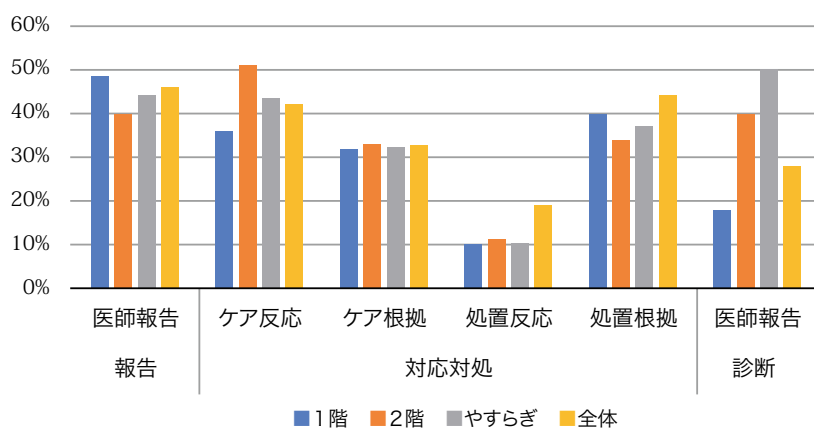
2、介護職員の経験年数やスキルの異なる職員一人一人のアセスメント力を高めるためには、記録委員も自ら勉強会に参加し、知識を高めていき適正な評価が行えるようにしなければならない。

3、介護記録より情報を得ていることから、フィジカルアセスメントに基づいた介護記録の質が、ケアの質向上に繋がる。

【引用文献】

- 津田裕子
状況別・症状別介護記録の書き方マスタ―
古市孝義
施設における介護記録の勉強会
実施前後の意識の変化 人間生活文化研究No272017

介護記録記載率50%以下の項目



研 究 め る

よりよい介護をみざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

通所リハビリの男性利用者が増えた要因について

介護老人保健施設 愛と結の街（鹿児島市） 〈発表者〉 看護師 岡 晶子
〈共同研究者〉 作業療法士 村井 真由美

【はじめに】

平成30年度の介護保険改正において、通所リハビリテーション（デイケア）と通所介護（デイサービス）は、その役割を明確にしていこうという方針が出た。その中でデイケアは短時間で集中したりハビリを行う役割が重視されている。そこで、平成31年4月より愛と結の街通所リハビリテーションは提供時間2時間15分の短時間リハビリテーション特化型通所リハビリに事業内容を変更した。通所系のサービスは女性の利用者が多いというイメージを持っていたが、短時間型に変更した愛と結の街のデイケアは男性の利用者が増えてきている印象を得たので、今回、その実際についてまとめ、要因について分析を行った。

【対象と方法】

対象

〈A群〉平成30年4月～31年3

月利用者

〈B群〉令和1年4月～7月利用者

方法1 A群、B群の利用者の男女比率について調査した。

方法2 方法1と同時期に〈A群〉104名（男性41名 女性63名）及び〈B群〉（男性30名・女性24名）それぞれ男女別にデイケアの利用目的について調査した。

【結果】

1、短時間デイケアへ移行する前の、A群では男性47・5%に対し、女性52・5%と女性が約5ポイント上回っていた。短時間デイケアに移行してからのB群は男性52・7%、女性47・3%と男性が約5・4ポイント上回った。

2、利用目的聞き取り 各群の利用目的の上位3つは以下の通りだった。

〈A群〉

男性 1、リハビリを受けたい

2、入浴 3、趣味、他者交流、暇つぶし、健康管理、家族の介護負担軽減

女性 1、リハビリを受けたい 2、趣味 3、他者交流

〈B群〉

男性 1、リハビリを受けたい 2、他者交流 3、なんとなく通っている

女性 1、リハビリを受けたい 2、家事ができるようになった 3、なじみの仲間などに会いたい

【考察】

平成31年3月以前のデイケアは提供時間6時間30分の1日型の利用者が約9割を占めていた。サービスの中にはリハビリテーション以外に入浴、食事、囲碁、手芸など趣味活動の時間があつた。1日型、短時間型共に男女とも利用目的が「リハビリテーションを受ける」ということが共通して主流で

あつた。一方短時間デイケアになつてから男女比が逆転していることがわかり、印象通り男性利用者が増えていることがわかつた。1日型では入浴、趣味活動、他者交流、暇つぶし、家族の負担軽減を利用目的にあげている利用者がいた。短時間型を利用している男性利用者はリハビリを受けることによつて、身体機能を治したい、歩けるようになりたいなどの利用目的に集約されており、他の利用目的を述べた利用者はごくわずかであつた。

短時間デイケアはサービス提供時間が2部制となつており、1日のスケジュールは健康チェックから始まり、個別リハビリ、グループでの体操、自主訓練、パワーリハビリ、物理療法、などと時間を決めて実施している。利用者からも短時間で集中したりハビリができる、時間があつという間に過ぎる、広いフロアで歩きやすい、と

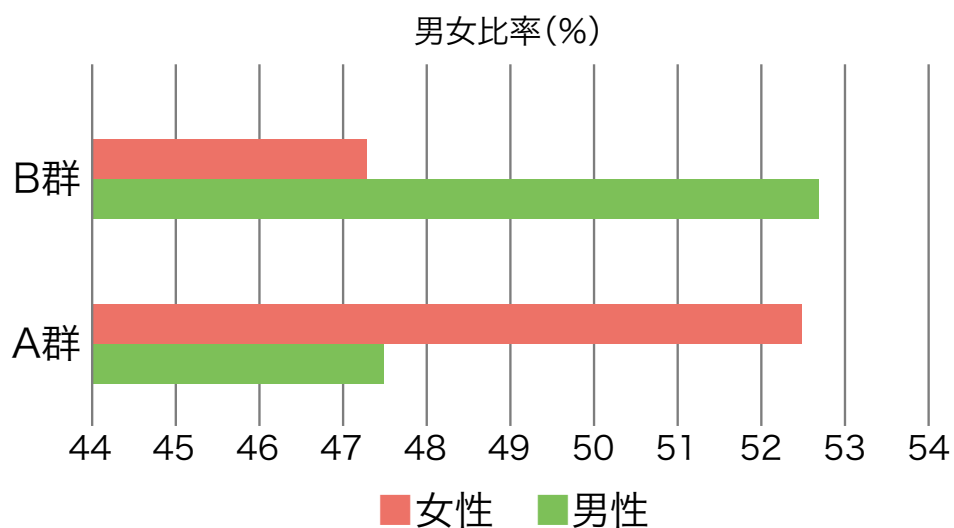


体操の様子

の感想を述べている。自主訓練の時間を設けたことによって受身ではなく、自発的に行動する場面もよく見られている。短時間デイケアになって、お風呂や昼食の提供がなくなり、利用者同士の雑談の時間は少なくなったが、リハビリ

を重点的に行えることで利用目的が明確となり、身体機能を治したい、筋力体力をつけたい、もつと歩けるようになりたいという思いの強い男性利用者が増えることに繋がったのではないかと考える。

表1



令和3年度 研修会

第2回PT・OT・ST部会及び看護介護部会

日 時：令和3年9月3日（金）14：00～16：00

会 場：鹿児島県医師会館3階中ホール（ハイブリッド方式）

テーマ

『認知症の深い理解-地域共生社会に向けた取り組み』

講 師：小川 敬之 先生（京都橘大学）

【アンケート結果】

1. 評価：非常に良かった7人 良かった6人

2. 研修会についての意見・感想

- ・認知症、フレイルの方に対して評価はしていても、その方の動作や生活場面での動きをあまり見れていなかったです。もっと個人の生活習慣を把握する必要があると感じました。
- ・本人の出来ること（やれること）を判別して地域社会と一つのチームとして行うことが出来るように視野を広げている方々と関わっていくことが重要と思いました。
- ・今回、認知症は脳の機能障害だけでなく、多因子疾患であり多因子介入が必要との言葉がとても印象に残りました。認知症の方はもちろん、その家族のQOLも重要であることを再認識し、自分に何が出来るか改めて考える機会となりました。また、認知症に関する本等も読んで認知症について勉強できたと思います。
- ・今回、認知症についての理解を深める機会が持てて良かったです。認知症であっても傾聴し寄り添い理解しようとする姿勢と行動力が大切である事が印象に残りました。
また、学ぶ環境が普及することが偏見の減少や未来の認知症患者数に影響を与えることを学び、まず自分自身が偏見を持たず向き合っていく姿勢を持とうと実感する研修でした。
- ・認知症の方々の接し方を改めて見直すべきと感じました。
- ・一緒に時間を過ごす事で利用者の癖もわかり、得意な事や好きなことを見つけて内発的な行動を出していくことが出来るように支援していきたいと思った。デリバリー作業をすることで、社会にまわってるもの（お金）が少なくてもいいから入って来る事で、社会に参加する意識も芽生え、家族との関係性も良くなり、生き生きしてる姿が素敵だと思った。デイでの参加内で働くことでケアを受けに行くのではない、働きに行く、社会に参加する事がいかにやりがいに繋がるか学べた。支援内でも寄り添いやりがいに繋がる発見を見つけない。作業を提供する人も好きなこと楽しいことを提供することで生活を整えるきっかけにもなり、機能訓練を頑張ってくれる事で、お互いが喜び楽しみを持てるような介護が出来れば良いと思った。
- ・図書館に種をまく活動も素敵だと思った。
- ・地域の人や子供たちに分かってもらえるように認知症コーナーを作ることで理解が深まっていいなと思う。また、将来を担う子供たちに種植え偏見がなくなり、10年後20年後変わっていく事を期待したい。
- ・図書館に設置された認知症関連の書籍を子供たちが読んでいるということでした。
- ・認知症への偏見がまだあるのか、今から益々高齢者が増え認知症の方も増えていくのかな、この書籍を読んで子供が20年先に偏見もなく当たり前のように受け入れる事が出来るいい取り組みだと思いました。子供達から親へ、そして地域で見守ることが出来れば認知症の人の家族への差別やストレス軽減になればと思いました。先生が最後に言われた、機能訓練も大事だが生活の中で楽しみを見つけ、介護者と一緒に楽しむと言われた言葉が心に残りました。

- ・認知症の方が増えていく中で、私たち福祉の仕事をしている人の関わりはとても大きな役割を持っていると思います。認知症の症状が人それぞれ違うので、関わりも人それぞれに合わせていかなければなりません。100 人いれば 100 通りの方法があると思います。以前、マッピングを取り組んだことがありましたが、その人の行動が見えて対策がとれたことがありました。日頃、一人の方にずっとついて行動を観察することは難しいですが、問題行動がある方は、一定の時間観察するのも必要だと感じました。
- ・認知症の方に関わるのは、とても大変で難しいなと思って接していますが自分がそう思っていることは相手にも伝わると思うので、自分も楽しんで対応できるように出来たらと思います。貴重な講演を有難うございました。
- ・認知症の方への対応・観察方法がわかりやすくとても良かった。公民館を活用したデリバリー作業の取り組みで高齢者の持っている能力を発揮できる場所の提供により、やりがいや楽しみになる仕組みがわかりとても勉強になりました。
- ・図書館や薬局を利用し、認知症に関心、理解を持ってもらう取り組みはとても良いと思った。苑内でも身近なところから始めたらいいと思った。
- ・認知症の方が地域で生きる上での支援について、具体的に知ることができた。ただ安全に生きるのではなく、自分の能力を発揮して、ここに居場所があると実感して生きることが出来るよう支援するのが私たちの役割であり、そのために環境（ひと・もの・行政等）を整えることが重要であることも再認識することが出来た。
- ・少子高齢化という大きな課題がある中で認知症とどのように関わっていくのか、色々な事例を紹介して頂きながら講義してもらい、とても参考になりました。
- ・地域の中での取り組みの話を聞いて金銭を貰う仕事をする地域の中でする事によって一人一人の気分転換になっていいなと思いました。
- ・利用者様を一括りにせず、個人をしっかり見て何を思っているのか等、近くで見ている私達にしかできない気づきをたくさん得て、学びに変えていきたいと思いました。
- ・当施設でも要介護度の低い方に対して、ご自分で出来ている事の多い分、介助に入ることが少なかったり、関わり自体少なくなっていて、トイレの失敗や転倒事故があってからその方の趣向や関わりについて考えることが多いです。何とか行えている時期でも分からない事が徐々に増えてきて不安に過ごされている所を見逃さず、関わっていく事の大切さを感じました。また、取り組み方に関しても、全体の活気や個人のやる気を引き起こす事にも確かにそうだなと思いました。一人一人の興味のある事を引き出して楽しいと思える事に会える事も大切ですが、全体的な雰囲気大切にしながら関わりを持っていきたいと思いました。

3. 今後の研修会で取り上げてほしいテーマ

- ・自宅に閉じ籠っている方を社会、地域参加を促すには？
- ・看取りケア
- ・認知症、精神疾患、うつ病や発達障害、知的障害のある高齢者への関わり方対応など
- ・今回のような珍しい取り組みについての失敗例や成功例など
- ・職員の定着するための取り組み

4. 今後の研修会で取り上げてほしい講師

- ・黒野 明日嗣先生
- ・古城 順子先生

今回、新型コロナウイルス（まん延防止等重点措置）適用もあり Zoom、ハイブリッド方式にて研修会を開催させて頂きました。認知症の理解、地域共生社会の取り組みに関して今後の取り組み方を考える良い機会を頂き感謝申し上げます。

また、研修に参加して頂いた方々、企画、運営に携わって下さった方々、ありがとうございました。

(PT・OT・ST 部会及び看護・介護部会)
 作業療法士 山内 貴人 理学療法士 松比良 健太
 看護師 田中 奈緒美 介護福祉士 山田 和章
 (あじさい苑 理学療法士 松比良 健太)

第2回事務長及び事務部会研修

日 時：令和3年9月8日（水）14：30～16：00

会 場：ZoomによるWeb方式

参加者：web 46名

テーマ

「介護のはじまりとこれからの制度改革について ～介護保険制度のあゆみとLIFE他～」

講 師：新 文也 先生、下境田 光徳 先生（南日本情報センター医療福祉本部）

今回は県内の新型コロナウイルス感染症の発生状況及び国のまん延防止等重点措置区域に指定されていることなどを鑑み、Web での参加のみの開催とさせて頂きました。参加者、運営側、講師ともオンラインでつないでの研修であり、一部音声等の聞き取りにくい面もございましたことを紙面にてお詫び申し上げます。

今回の研修についてのアンケート結果を以下にまとめましたので、みなさんと共有していければと存じます。

【アンケート結果】 返信6通

1. 評価 良かった 4 普通 2

2. 本日の研修会についての意見・感想ほか

- ・第一部の音声聞きづらかった。
 - ・第二部の資料もあれば良かったと思いました。
 - ・地域的に在宅復帰が難しい施設にとって、同じ様にサービス等を行っているにも関わらず加算が出来ない事は非常に辛いので加算が取れる様に見直すのが先決ですが…。
 - ・ICT等の活用により、文書量が半減できれば理想である。
 - ・見守りセンサーを導入していますが、死角の部分が見えるようになり夜間等の人員配置が緩和できる事はとてもプラスである。
 - ・LIFEのフィードバックデータの活用についてもう少し話を聞けたらと思いました
 - ・今後の変更予定の内容を確認することができたことが良かったが、マイナンバーカードの活用が必要になってきた際にマイナンバーカードの交付や更新手続きなど高齢者の方では難しいのではと不安になり、独居や高齢者世帯の方への対応を考える必要があると思いました。
 - ・社会保障制度の歴史・介護保険制度のあゆみと LIFE・これからの介護保険制度についての講義ありがとうございました。振り返り勉強させて頂きました。
 - ・本日の研修会は、介護保険制度の歩みを再確認ができました。又、今後ICTがどのように介護分野に関わってくるのかも勉強ができました。
老健のシステムをもう一度見直し、今後のICT化に遅れないよう、補助金等も取り入れながら設備投資の計画を立てようと思います。
研修会を計画、開催して頂きありがとうございました。
 - ・介護保険の成り立ちから現在の LIFE 導入までの総論的な流れがよく分かりました。LIFE 導入後の厚労省のビッグデータの活用が、今後老健にどのような影響（具体的な業務）がでてくるのか、注視していきます。
 - ・2024年の医療・介護同時改定において、情報連携が推進されている中で、居宅介護支援事業所とサービス提供事業所等との連携が更に進むよう、ケアプラン ICT 基盤が整備される見通しとなってきた。
- さらに、マイナンバーカードの活用可能性も介護保険・被保険者証だけでなく、医薬品や既往歴

等にも広く活用される可能性もある。そういった、一連の取組みが評価され加算が付く可能性もあるとのことであった。

デジタル庁の発足に伴い、他の省庁との連携がどのようなスピードで、どこまで進むのか今後の動向に注目していきたい。

3. 今後の研修会で取り上げてほしいテーマ

- ・LIFEでの開始が入所によってバラバラな為、データ提出を合わせる事ができる方法
- ・LIFEのフィードバックデータの見方と活用具体例を知りたいです。
- ・人口減に伴う、今後の老健の経営のあり方（都会と地方との違い）
- ・病院やクリニックとの連携（関わり方）
- ・地域包括ケアにおける老健の果たすべき役割とそこから見えてくる課題

4. 今後の研修会で取り上げてほしい講師・・・回答無し

今回の研修会では、社会保障制度の歴史・介護保険制度のあゆみなどこれまでと少し違った視点での研修会となりました。現在の実務に直接関わりがなくとも国の制度の変遷を知ること、今後の超高齢化社会における制度運営の方向性や課題を考えるいい機会になりました。LIFEの運用においては、自分の施設でも未だ提出だけで試行錯誤の状態です。フィードバックに関する具体的な取り組みまで踏み込めていないところですが、老健共通の課題として連携を取りながら着目していきたいと感じました。

（事務長及び事務部会 グレースホーム 事務長 川畑 純）

第2回看護介護部及び事務部会研修会

日 時：令和3年10月13日（水） 14：00～16：00（質疑応答含む）

会 場：Zoomにより（東京から）配信

参加者：33施設 63名

テーマ

『介護現場におけるリスクマネジメント』

講 師：外岡 潤 先生 （法律事務所おかげさま弁護士）

【アンケート結果】

1. 本日のオンライン研修会についての意見・感想ほか

- ・講師の先生の講演内容が非常にわかりやすく、裁判事例を通し、理解しやすい研修会でした。まずは、自分たちが誠意をもって対応する事が大切であると改めて感じました。
- ・未収金対応の部分がもう少し聞けたらと感じました。
- ・未収金回収については大変ためになりました。次回はさらに、具体例を知りたいです。
- ・転倒事故マニュアルは図入りで大変見やすいです。内容も分かりやすく部署で共有したいと思います。
- ・認知症の方の発言など、「いつものこと」と決めつけず、あらゆることを想定したケアを心がけていきたいと思いました。
- ・事故報告書や計画書、介護記録など、改めて記録の大切さを学びました。
- ・記録の意味などスタッフに伝えたいと思います。
- ・裁判は証拠がすべてという事で、日々の記録の大事さを実感しました。
- ・謝罪に関しては、何に対しての謝罪なのか明確にしておくことが、大事だと思いました。
- ・転倒事故の裁判事例の資料を拝見しまして、いつ起こってもおかしくないと思いました。
- ・家族との信頼関係の大切さを感じました。
- ・講師の先生の話し方、内容が非常にわかりやすく理解しやすいでした。

裁判に関するお話を聞けたこと、誠意が大切であることを学べたことが良かったです。

- ・損害賠償の要件を教えていただき、考えを整理しやすくなったと思います。
- ・転倒骨折で死亡に至らなくても、多額の賠償金を支払うケースがあることが分かった。中身を見てみると、自分たちが普段経験している内容が掲載しており、自分たちも訴訟のリスクを受けることがあるので気をつけなければならない。
- 家族とこまめにコミュニケーションを、事故発生時は迅速で誠意のある対応を心がけたい。
- 記録もしっかり書く必要がある。

2. 今後の研修会で取り上げてほしいテーマ

- ・認知症の薬について…効果と副作用など。
- ・今回の研修で、未収金回収についての具体例を知りたい。

少子高齢化が進む日本において不可欠な存在である介護施設ですが、他の業界に比べて事故やトラブルが起こりやすい状況の中で、日々職員は業務を行っております。その中で、利用者、家族、職員のリスクマネジメントに対する関心も高まっております。

日頃から、家族間、職員間であってもコミュニケーションをとり、信頼関係を深めていくことが大切であることを学びました。

今年度の介護報酬改定でもリスクマネジメントが重要視されている中で、今回の研修も日々の業務を行っている中で身近な出来事としてわかりやすく研修をして頂きありがとうございました。寒さも厳しくなりますが、コロナにもインフルエンザにも負けない気持ちで頑張りましょう。

(介護老人保健施設 ひまわり 看護職員 田中 奈緒美)

全部会合同研修会

日 時：令和3年11月16日（火）14：00～15：30

会 場：鹿児島県医師会館3階中ホール

参加者：20名



テーマ

「アンガーマネジメントについて」

講 師：鶴田 光樹 先生 （（医）愛誠会 理事）

【アンケート結果】

1. 評価 非常に良かった 9
 良かった 6
 どちらでもない 2

2. 研修会についての意見・感想など

- ・一方的な講義ではなかったので、あっという間に時間が過ぎました。
- ・自分の～すべき、～であるべきという考えが怒りを生むのでコントロールしなければならない。
- ・アンガーマネジメントときくとよく怒る人が話を聞くとといったイメージを持たれやすいです。職場でもそのような空気があります。しかし、職場全体で研修会に参加できることが望ましいと思いました。
- ・1時間半という短い時間ではありましたが怒りのコントロールやメリット・デメリットの考え方等、とても勉強になりました。日々の業務に追われ、イライラすることも多いですが、コーピングマントラを身につけて仕事に臨めたらと思います。
- ・説明が分かりやすく良かったと思います。自分自身の思考力も認識出来たと思う。

- ・初めてアンガーマネジメントを学び、なぜ怒りが起こるのか、人ではなく～あるべきである理想である事を知れた。
- ・もう少し時間を掛けて学びたいと思いました。講師の説明がわかりやすく、意見を聞きながら進めて頂いたのであっという間の時間でした。
- ・アンガーマネジメントの3つのコントロールを再度確認出来ました。怒りについても必要がある時は、上手に怒れるようにして行きたいと思います。
- ・何度聞いても勉強になります。
- ・怒りのコントロールなど、怒りに対して深く学べました。怒り方も様々ですが相手に感情だけでなく、考え方も伝わるように工夫しないといけないと思いました。
- ・自分を客観的にみることが出来ました。理論的に怒りを学ぶ事でコントロール出来るようになったらよいと思う。
- ・グループワークで意見交換など色々な考え方、思うことがわかり、すごく良い勉強になりました。アンガーマネジメントの意見がより分かりやすくなった。
- ・自分の傾向をよく知る事が大切だと思ったのが受講動機です。対応として、間をとる。許せるゾーンを広げられればいい。変わらないものを受け入れる。変えられるものを変える勇気など識別するかが必要だと思う。
- ・自分の怒りを記録し傾向を知る事が大切で、衝動的とならないよう後悔しないように、怒りをコントロールしていきたい。
- ・怒りという切り口を通して、自分自身を見つめ直す良い機会となりました。
- ・他スタッフに教えるためにスライドペーパーがあつたらもっと助かります。
- ・怒りのメカニズムについて考える時間を頂きありがとうございました。まずは3つのコントロールを意識していきたいと思います。部下に対して注意をしても「頭の中では分かっています。でも…」と行動が変わることがないが、どう対応したら良いのでしょうか。例) 職員が入所者に対し、その時の気分や感情で強い口調になったりする。

3. 今後の研修会で取り上げてほしいテーマ

- ・チームマネジメント
- ・介護職のフィジカルアセスメント
- ・介護マネジメント
- ・コーチング
- ・ファシリテーション
- ・LIFEについて
- ・BCPの作成方法

4. 今後の研修会で取り上げてほしい講師

- ・特になし

今回アンガーマネジメント（怒りの管理）に対する研修会行うにあたり、コロナ感染予防対策や個人情報保護を踏まえ、会場で開催することになりました。怒りを区別し、自分が主体的に感情を選択できるように、一種のスキルとして身に付けられることが出来れば、良い関係やストレスの軽減にも繋がると考えます。アンガーマネジメントについて学ぶ機会を頂き感謝申し上げます。今後の生活でも取り入れていけたらと思います。また、研修に参加して頂いた方々、企画、運営に携わって下さった方々、ありがとうございました。

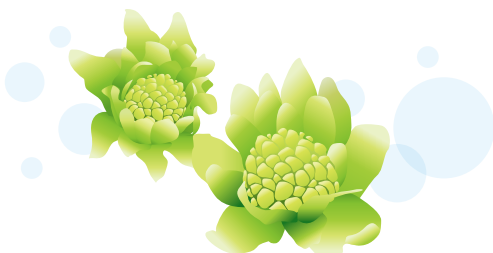
＜事務部会・看護介護部会・支援相談部会・PT・OT・ST部会・給食部会＞

事務：加治屋 看護師：田中 介護福祉士：山田 支援相談：有田
OT：山内 PT：松比良 管理栄養士：藤田
(あじさい苑 理学療法士 松比良 健太)

協会だより

令和3年10月～

- **令和3年度第2回看護介護部会及び事務部会**
開催日：令和3年10月13日(水)14:00～16:00
場 所：Zoomによるオンライン配信
(後日、YouTube 限定公開)
講 師：外岡 潤 先生 (弁護士)
テーマ：「介護現場におけるリスクマネジメント」
 - **公益法人検査(県公益認定等審議会)**
開催日：令和3年11月2日(火)
場 所：県医師会館
 - **令和3年度第1回鹿児島県外国人材に関する意見交換会議**
開催日：令和3年11月12日(金)
場 所：自治会館
 - **令和3年度合同研修会**
開催日：令和3年11月16日(火)14:00～15:30
場 所：県医師会館 中ホール1
講 師：鶴田 光樹 先生 (医療法人愛誠会 理事)
テーマ：「アンガーマネジメントについて」
 - **令和3年度第26回鹿児島県老人保健施設大会**
開催日：令和4年3月17日(木)～18日(金)
場 所：県医師会館 4階大ホール
講 師：東 憲太郎 先生 (全老健 会長)
テーマ：「ひっとべ！老健
～コロナを乗り越えたその先に～」
- (ご参考)
- **第33回全国介護老人保健施設大会 兵庫**
開催日：令和4年9月22日(木)～23日(金)
場 所：神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場 他
テーマ：「新たな時代をいきぬくために
～今、老健ができること～」
 - **第21回九州ブロック介護老人保健施設大会 in 佐賀**
開催日：令和4年12月15日(木)～16日(金)
場 所：佐賀市文化会館



(※) 本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。
詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

老健に入るためのご案内

1つの事例

入院中の父を入所させたい

【質問】

70歳の父が脳梗塞で入院中です。病院での治療を終え、要介護2の認定を受けました。歩行が不安定なので、いったん老人保健施設に入所し、リハビリを受けたいと考えています。老人保健施設へ入所するにはどのような流れでしょうか。

【お答え】

介護老人保健施設（以下老健）は、病状が安定して、病院での治療よりも、看護や介護に重点をおいたお世話を必要とされる高齢者を対象とした施設で、高齢者の心身の自立を支援し、親しみやすい環境の中で、家庭生活への復帰を応援します。入所の利用対象者は要介護1～5の認定を受けられた方です。

以上のことから、このケースは老

健の入所対象になると考えられます。施設入所までの流れは次をご参照下さい。

まず施設を探す

現在、鹿児島県内には78の老健があり、各地に点在しています。これらの老健については、役場の介護保険窓口で紹介してもらうことができます。他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や本誌巻末でも連絡先を知ることができますので、近くにどんな老健があるのか探してみして下さい。

気軽に相談を

施設が見つかったら相談してみましょう。老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時には支援相談員を尋ねてみて下さい。相談の形は電話でも直接足を運んで

もかまいません。

施設からは利用者ご本人とご家族について、また要介護度や連絡先などを確認させていただき、それに併せて施設の説明を行いますので、料金や待機状況など不明な点は何でも気軽に聞いて下さい。要介護認定を受けていない場合でも、申請の仕方などケースに応じた説明を行いますのでご心配いりません。

入所待機の申し込み

相談の後、利用者側が入所を希望され、施設側も受け入れ可能と判断しましたら、入所待機の申し込みを行い、一旦待機に入ってください。申し込み方法や待機状況は様々で、施設によっては電話での入所申し込みが可能なお所もあります。ですが、老健についてより知っていただくためにも、時間をみつけて1度施設を見学される事をおすすめします。

待機中は

入所日が決定するまでの間に、利用者の状態の変化や、他施設への入所決定等があり、待機の必要がなくなれた場合には、待機中の施設へ連絡をいただくと助かります。

入所までの大まかな流れは、上記のようになります。また、ホームページも参考にしてみてください。

老健への入所の大まかな流れ

利用者・家族

施設探し

※老健の連絡先については、市町村役場介護保険窓口で紹介してもらうことができる他、電話帳の「介護老人保健施設」欄や、本誌巻末でも連絡先を知ることができます。

電話相談

※老健には必ず「支援相談員」がおり、入所等の相談に応じていますので、相談時は支援相談員を尋ねてみて下さい。

施設見学・相談

施設の説明に併せて
・利用者の状態
・要介護度（未申請の場合はお知らせください）
・連絡先 などお尋ねします。

利用者側の入所希望+施設側の受け入れ可能判断

入所(待機)申し込み

※申し込み方法・待機状況は施設毎に異なります。施設によっては電話で入所申し込み可能な施設もありますので、気軽にお尋ねください。しかし、老健についてより知っていただくためにも、一度施設を見学されることをおすすめします。

入所





焼内湾



湯湾岳

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐるだけでも相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.6

東川隆太郎

NPPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表理事



魅力あふれる集落ばかり 奄美大島南西部の宇検村

今年の7月に世界自然遺産に登録された奄美大島などの自然。その世界遺産エリアにある奄美大島の湯湾岳を望める村が宇検村。入り組んだ入江が独特の焼内湾を称え、その周辺に集落が点在する。どの集落にも奄美大島らしい生活文化が根付いていて、どこを歩いても楽しい。今回は、宇検村の集落にスポットを当てて私なりにみどころをご紹介します。

まずは島の最高峰の湯湾岳。奄美岳とも呼ばれ標高は694メートルある。宇検村からも登山できるが大和村側からの登山の方が初心者向けということで、私は大和村側から登山したことがある。湯湾岳との名前通り、麓の湯湾集落の背後にそびえていて、焼内湾とともに集落を見守っているような趣もある。

現在の宇検村における行政や経済の中心は湯湾集落だが、村では北西には宇検集落がある。焼内湾の入り口に位置していることから、大島の西側を代表する湊として栄えた場所でもある。集落を見下ろす場所には集落の鎮守神である高千穂神社があり、無人島の枝手久島が目の前に望める。

芦検集落は、かつて地域の祭祀行事を



高千穂神社からの眺め



平田集落の石垣



須古集落の白糖石



宇検集落の海岸



屋鈍ビーチ



名柄共同売店



役場にある高倉

司っていたノロに関する祭具が多数伝わっている。琉球王府から発給された辞令書や身に着けるハブラ玉などである。ハブラ玉は、3666個の小さな色とりどりの硝子玉から成り、ノロが祭祀にとって重要な役割であったことを示している。明治15（1882）年に芦検から田検集落にかけての海にイギリス艦隊が停泊した出来事があり、その際には現在の大和村からも多数の見物人が来たという。

次は、湾奥の湯湾集落の対岸に位置する須古集落。ここには幕末期に薩摩藩が白糖製造のための工場を建造した場所で、現在は工場の建物に使用されていた石が、家の石垣などとして再利用されている。名柄集落は焼内湾の奥深い入江に位置しており、島唄にもある伝説の美女「カンツメ」の物語が伝わっている。集落には共同売店という集落運営の売店があり、これは芦検集落にもある。平田集落の海岸にあるサンゴ石の石垣は見事であり、積み方も含めて巧みである。宇検村では一番西側に位置する屋鈍集落には、美しいビーチがある。眼前に枝手久島を望みながらのんびりするには最高である。

とにかく、様々な魅力にあふれた集落ばかりの宇検村なのである。

（ひがしかわ・りゅうたろう） 1972年、鹿児島市生まれ。鹿児島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿児島の魅力を伝える活動を行っている。

こぼれおちた

ものもの

30

三角 みづ紀



遠くでキタキツネが鳴いている。幼い子供が叫んでいるみたい甲高い声。最初に耳にしたときは、だれかが泣きわめいているのかと思つて、とてもこわかった。いまとなつては、親を探す子ギツネだろうかと心配する日々だ。この土地で四年半は暮らしているのだ。

日がのぼる前のひととき、仕事机の置かれた部屋に秒針の音が響く。カーテンを開けたら白い静寂につつまれている。降つては止んで、なにかもかき消されていく風景が広がる。お気に入りのマグカップで珈琲を飲みつつ、迷子の痕跡すら埋もれていく過程を眺める。夫が起床するまでのあいだ、わたしだけの時間が満ちている。

今日は昨日の続きで、明日は今日の続きだ。さまざまな区切りがあるけれど、すべて大きな流れのなかの出来事。新年をむかえた瞬間に、秒針が合図するわけでは

変わりのない愛すべき一日



ない。ひとびとの都合で時刻が定められ、カレンダーがめくられる。とはいえ、あたらしい一年はやっぱり特別だ。キタキツネの声に思いを馳せるようになったのと同じ

く、お正月がますますいとおしくなったのも、北海道に引っ越してからかもしれない。かつて住んでいた都市とは違って、月日がのん

びりと過ぎさり、自然と共存していると感じる。ゆえに、季節をいっそう大切に作る生活をおくっている。

以前は正月も関係なく執筆していたが、近年はきちんと休むことに決めている。元旦は混雑するのので、二日か三日に参拝する。お守りやお札をお返しして、びかびかのものを求める。鏡餅を供え、玄関にはささやかなしめ縄を飾り、かみさまをお迎えする。

わたしも夫も無宗教で、これらは新年の目印だ。でも、わたしたちの儀式はわたしたちなりに、なるべく丁寧におこないたい。つぎへ向かうための僅かなころもち。

北国では大晦日におせち料理を食べると知って驚いたのも、懐かしい記憶。年越しそばとおせちを同時に食べるなんて信じられないと考えていたのに、あたりまえになつていく。住む場所に染まる。動物の声がありふれたものになるのも、過去の自分だったら想像もできなかっただろう。

ひっそりとしていて、すこしの高揚感があつて。初詣の際には、使い捨てのかいろをポケットにしのぼせる。大勢のひとが歩いた参道の雪は踏み固められて、つるつるになつている。滑らないように慎重に進む。しっかりと手をつな

ぎながら。

三ヶ日を終えたら日常をとりもどすべく、徐々に食事や起床の頃合いをとらえていく。もとより眠りが浅いから、早起きをして机に向かうのは苦ではない。ああ、ようやくあたらしい年になったのだと実感する。とりわけ深い感慨もなく、自然にしたがう儀式としての行為の結果だ。

「ねがう」

あけましておめでとうことしも よろしくね 今日だけでなく明日も 明後日も 明後日も いつも朝を待っている 終わりに向かつている 日々に向かつて祝つた

空が白みはじめる。また一日が はじまる。鳴き声はもう聴こえなくて、新聞配達の声がする。動きだした日々はあいかわらず絶えない。そのことに安心して、ふたたび原稿にとりかかる。変わりのない愛すべき一日だ。

三角みづ紀(みすみ・みづき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)萩原朔太郎賞受賞。



西郷どんの宿内



足湯

(訪れたときはコロナのため休止となっていた)



西郷どんの宿と一ツ葉



食堂で提供されているランチ



食堂のフロア



地場産の野菜が並ぶ物産館

食堂や物産館が入る建物
入り口には観光案内所も

日当山西郷どん村 (霧島市隼人町内)

した「西郷どんの宿」がある。霧島市が整備し、2017年12月オープンした。現在、物産館やレストラン、足湯も併設されている。

西郷どんの宿は、かやぶきと瓦ぶきの二重屋根。土間から入ってみると、思ったよりも広い。部屋は田の字形に四間で、八畳間や六畳間があり、囲炉裏もある。西郷の書の複製なども展示してある。

庭には西郷が馬をつないだといわれる一ツ葉(イ

西郷隆盛は明治維新の前後から西南戦争で没する直前まで、しばしば日当山を訪れ、温泉に入り、狩りや釣りを楽しんでいる。古老の記憶では十数回以上に上ったという。

「西郷(せご)どん村」には、西郷が宿代わりにした龍宝伝右エ門宅を復元

新たな霧島の観光拠点

「日当山無垢食堂」と名付けられたレストランと物産館は、地元食材にこだわり、食品ロス削減にも気を配る地元企業が経営。レストランは朝食や

ヌマキ)がある。訪れた家族やカップルが一ツ葉を背景に記念写真を撮る姿も。

ランチが食べられる。ランチは旬の野菜を使った彩り豊かなおかずに雑穀米、みそ汁がついて、見た目もおなか也大満足。

物産館には新鮮な野菜のほか、ちよつとこだわった加工品やお菓子、雑貨が並び、見るだけでも楽しい。弁当も人気だ。

「西郷どん村」は、西郷にまつわる歴史を知ることができただけでなく、霧島の魅力を発信する新たな観光拠点になっている。

(編集委員 米森)

ふじのくに
フォーカス

ろうけん広場

「えっ！ どの駅」

鹿児島県内のＪＲ駅舎やその周辺が、ここ数年で目覚ましい変化を遂げている。写真だけ見るとどこの都会の駅なのかと思うほどだ。

慈眼寺駅

(鹿児島市慈眼寺町)



高架化されて両駅の風景は一変。指宿枕崎線で走るのは気動車だが、まるで新幹線が止まる駅舎のようだ。ＪＲ九州の車両や制服のデザインを手掛ける水戸岡鋭治氏が駅舎を手掛けた。

谷山駅

(鹿児島市谷山中央1丁目)



鹿児島中央駅

(鹿児島市中央町)



昨年完成した県内一ののっぴル「鹿児島中央タワー」。鹿児島中央駅の駅舎に映り込み、ツインタワーのように。おまけだが、秋口、中央駅前のクスノキ周辺を飛び回るムクドリには驚かされる。

鹿児島駅

(鹿児島市浜町)



いまの駅舎は５代目。２０２０年に使用が始まった。隣接する市電の鹿児島駅前停留所も翌年新しくなった。上町地区の新たな拠点としての期待がかかる。

川内駅

(薩摩川内市鳥追町)



東口には「SSプラザ川内」(薩摩川内市川内駅コンベンションセンター)が２０２１年オープン。多目的ホールや市民交流スペース、会議室などがある。隣接して「S CUBE HOTEL BY SHIROYAMA」も開業。駅周りの街並みもどんどん変化している。



かごしまの食卓

冬編

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。
「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。
2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。南日本新聞で企画「かごしま食歳時記」を21年1月1日から連載中



キンカンの甘煮

正月の華やかな食卓に欠かせないひと品です。キンカンは主に宮崎や鹿児島で生産されます。鹿児島県内では庭に植えて自家用にしている家庭も多いようです。正月用には少し紅色を帯びた濃い色で艶があり、粒が大きく、表面に張りがある重みを感じるものを選ぶとよいでしょう。はじめに表面に穴か切り込みを入れ、水につけてから柔らかく煮るのがコツです。

レシピ

●キンカン(大粒のもの) 1キ
●砂糖 500㌔

- ①キンカンを洗い、竹串でキンカンの表面にポツポツと穴をあけるか、包丁で四方に浅く切り込みを入れる。
- ②①をたっぷりの水に漬け半日おき、そのまま火にかけ沸騰したらすぐにザルにあけ、アクを抜く。
- ③鍋に②のキンカンとかぶるくらいの水を入れ、はじめ強火、沸騰したら軽く沸騰が続く程度の火力で、キンカンが柔らかくなるまで煮る。
- ④③の煮汁をキンカンがひたひたになる程度まで調整し、砂糖を2、3回に分けて加えながら10分程度煮詰め、火を止めそのまま冷ます。



砂糖の量は好みで加減してください。甘煮の汁は、お湯やお茶で薄めて飲むと体が温まります。特に喉をいたわってくれるとされています。



鶏ぶつ切りがない場合は、鶏手羽先や鶏手羽元を使うと、骨や皮の旨みも味わえます。

きいこん

鹿児島の昔ながらの「正月料理」です。暮れに飼っている鶏をつぶし、むねやももを刺し身にした後の骨付き肉と野菜で作るごちそうだったそうです。野菜や芋などの具材は面取りなどせず、切り込んで直接鍋で煮込んだところから「きいこん」と呼ばれるようになったと聞きました。何度も煮返すので、汁気は多めに作りましょう。

レシピ

4人分

●鶏ぶつ切り(骨付き) 400㌔ ●厚揚げ 100㌔
●大根 500㌔ ●油 大さじ2
●人参 150㌔ ●調味料
●ごぼう 100㌔ うす口醤油・本みりん
●干しいたけ 4枚 各大さじ5
●こんにゃく 100㌔、塩少々 ●絹さや 4枚、塩少々

- ①干しいたけは水で戻し、軸を除く。
- ②大根、人参は大ぶりに切り、ごぼうは乱切りに、しいたけは2等分にする。こんにゃくは手でひと口大にちぎり、塩でもみ、水で洗う。厚揚げは食べやすい大きさに切る。
- ③鍋に油をひき、鶏ぶつ切りを焼き、表面に軽く焦げ目をつける。②を加え大きくまぜ、全体に油が回ったら、しいたけの戻し汁を加えさらにひたひたになるくらいに水を足す。
- ④③に調味料を加え、途中でアクを除きながら、具材が柔らかくなり、汁気が少し残る位まで煮る
- ⑤絹さやは塩少々を入れた少量の湯で、さっと茹でてザルにあけ、斜めに2等分する。
- ⑥器に④を盛りつけ、絹さやを添える。

介護用品 あれこれ

推奨福祉用具のご紹介

～装着型パワーアシストスーツ「J-PAS fleairy」のご紹介～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 **湯脇 稔**

はじめに

昨年 の 1 月 号 で 空 気 圧 を 利 用 し た 装 着 型 腰 痛 予 防 グ ッ ズ の 「 マ ッ ス ル ス ー ツ エ ブ リ ー 」 を 紹 介 さ せ て い た だ き ま し た が 、 今 回 は 介 護 者 の 動 き を 感 知 し て 電 動 モ ー タ ー で ア シ ス ト 力 を 自 動 調 整 す る 衣 服 型 の パ ワ ー ア シ ス ト ス ー ツ 「 J - P A S f l e a i r y 」 を 紹 介 さ せ て い た だ き ま す 。

パワーアシストスーツJ-PASシリーズ第3弾!!



衣服型
アクティブタイプ

業界
最軽量
クラス

介護作業での **腰の負担軽減** の為の
パワーアシストスーツ!!



J-PAS fleairy (フレアリー) とは

センサーによるモーター駆動により適正なタイミングで必要な力をアシストすることにより、しっかりとアシスト力と多様な作業へのフィット感を実現しました。

介護作業における腰部の負担へ高い軽減効果があり、トイレ空間等での立位保持介助約 59%軽減、おむつ交換などの中腰姿勢保持では約 94%の軽減を実現しました。

J-PAS fleairy 装着時の 腰部負担測定結果



< 試作機での代表作業事例 > 介護作業における腰部の筋電位測定結果



※ 氏産福祉社会福祉事業団 福祉のまちづくり研究所にて測定した筋電図データをもとに作成



J-PAS fleairy の特徴

① 軽い

駆動部分の本体重量約 1.6Kg+装具 0.5Kg 程度と軽量で長時間装着してもラクラク快適です。

② やさしい

威圧感の少ない外観と、簡単操作で介助する人、介助される人双方の不安感を軽減します。

③ 動きやすい

装具部分はやわらかく体にフィット、必要な時に必要な分だけ力をサポートします。

導入ケース

「ベッドから車いす」「車いすからベッド」への移乗介助だけでなく、中腰姿勢をサポートしますので、おむつ交換や体位変換などベッド上での介助や、シーツ交換など中腰での作業が楽に行えるようになります。

また、コンパクト設計で個室のトイレでの排泄支援や個室での入浴支援に対応できます。さらに、装具には防水性があり、濡れても乾きやすい素材を使用しており、負担の大きい浴槽からの引き上げなど入浴支援にも使用できます。

アシスト機能はオン・オフ可能で、オンの状態でも歩行時は作動しないので部屋から部屋への移動時や、ナースコール等での急な呼び出しにも負担なく行動できます。

J-PAS fleairy の入手について

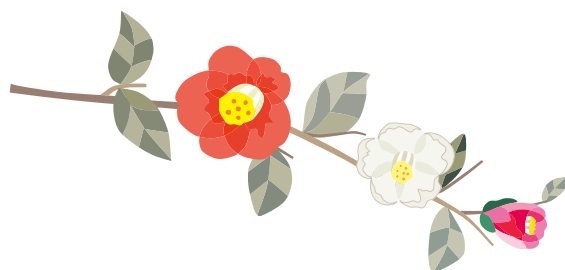
J-PAS fleairy の価格は、本体+装具で消費税込み 327,800 円となっております。

決して安い価格ではありませんが、エイジフレンドリー補助金、介護ロボット導入支援事業補助金など、様々な助成事業の対象品となっております。

もちろん、カクイックスウィングでは取り扱いしておりますので、「詳しい説明を聞きたい」、「現物を見てみたい」、「試しに使ってみたい」などのご要望がありましたら、弊社の営業担当者までお声掛け願います。

株式会社 ジェイテクト公式 HP <https://active-life.jp/jpasfleairy/#0>

*写真及び本文、株式会社ジェイテクト HP 及び商品カタログ引用



あなたの地域の介護老人保健施設 78カ所



⑦ろうけん始良

〒899-5652 始良市平松5062
☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
居宅介護支援事業所ろうけん始良
訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘

〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院
居宅介護支援事業所青雲



⑨アメニティ国分

〒899-4301 霧島市国分重久361-1
☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

鶴木医院(指定介護療養型医療施設)
うのきデイサービス(認知症専用)
ヘルパーステーションアメニティ国分

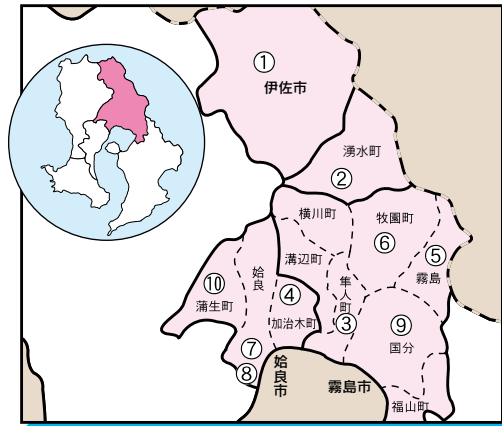


⑩ろうけん大楠

〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼは」
ろうけん大楠居宅介護支援事業所
大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと

〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
ことぶき園(特別養護老人ホーム)
グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑

〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504

あいらの森ホスピタル
グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
グループホーム愛の里



③希望の里

〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)
訪問看護ステーション姫城
グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木

〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
龍門の里(軽費老人ホームA型)



⑤きりしま

〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院
訪問看護ステーションあんしん
グループホームゆめ

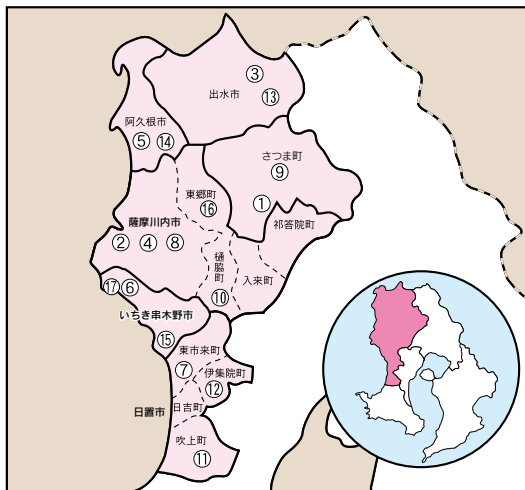


⑥サンライトホーム

〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
霧島青葉園(身体障害者療護施設)
霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ

〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオリアリハビリテーション病院
訪問看護・リハクオラU
グループホームアリエ



②あじさい苑

〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
きららクリニック
グループホームそら



⑫アンダンテ伊集院

〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
ケアセンターリエゾン日置
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ

〒899-0214 出水市五万石町281
☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもそのクリニック
ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ

〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき

〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
吹上園・市来松寿園
市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム

〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧淵8920番地
☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
グレースホーム訪問看護ステーション
グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜

〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)
グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健

〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
ケアハウス出合い坂
居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出合い坂



②スイートケアなかよし

〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院
いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム

〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ

〒899-0217 出水市平和町336-1
☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井中央病院
ユニット型老健グランアージュ
鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター

〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
在宅介護支援センター 長生園
グループホーム 自立の家



⑤回生苑

〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
阿久根市在宅介護支援センター
桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑

〒896-0002 いちき串木野市春日町63
☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
串木野市在宅介護支援センター
慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里

〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

ゆのもと記念病院
グループホーム あったかハウス
訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内

〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
薩摩川内市在宅介護支援センター
薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノはたるの里

〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
鶴田町在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所 パラディーノはたるの里



⑩グラン・ベリテわき

〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

市比野記念病院
翠泉苑(特別養護老人ホーム)
指月苑(養護老人ホーム)

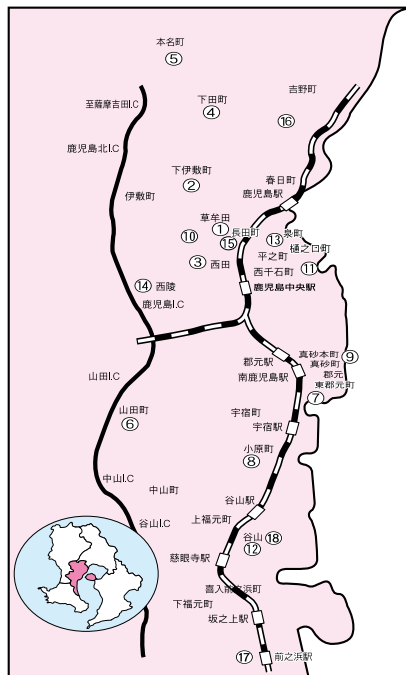


⑪湯の浦ナーシングホーム

〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
居宅介護支援事業所
(湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 78カ所



⑬あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)

⑭ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセル天保山(介護付有料老人ホーム)

⑮ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑

⑯ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

内村川上内科
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり

⑰サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜

⑱光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093

④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ

⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

吉田温泉病院居宅介護支援事業所
ヘルパステーション ゆうばえ
訪問介護ステーション 夕映え

⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-275-1309

Tsukasa Health Care Hospital

⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑

⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院

⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)

⑩まろにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所

⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパステーション西千石

⑫フェニックス

〒891-0141 鹿児島市谷山中央1-4021-1
☎099-268-3636 FAX 099-268-2722

とまり泌尿器科



⑦おさしお

〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501

グループホームきらら
長崎内科
陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン

〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802

平和台病院
介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑

〒891-2124 垂水市錦江町1-140
☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280

垂水市立医療センター、垂水中央病院
垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ

〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105

肝属郡医師会立病院
居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた

〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201

はるびゅうクリニック
訪問看護ステーションふるる
居宅介護支援事業所サンセリテのがた



⑫ありあけ苑

〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
☎099-477-2331 FAX 099-477-2335

曾於医師会立訪問看護ステーション
曾於医師会立居宅介護支援事業所

⑬介護医療院とうご(旧 老健とうご)

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-11-12
☎099-472-1236 FAX 099-472-4640

藤後クリニック(有床診)
志布志訪問看護ステーション
橋友会介護支援センター



⑭絆

〒891-2104 垂水市田神3536番地1
☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163

池田温泉クリニック
グループホームひまわり苑
小規模多機能ホームひまわりの里

南 薩 地 区



①指宿温泉菜の花苑

〒891-0402 指宿市十町418-1
☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239

今林整形外科病院
明正会介護支援ネットワーク菜の花
(居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム

〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530

高原病院
末吉町在宅介護支援センター
末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり

〒893-0024 鹿屋市下祓川町1853
☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727

池田病院
鹿屋長寿園(特別養護老人ホーム)
デイサービスセンター鹿屋長寿園



③ケアセンターやごろう苑

〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964

昭南病院
大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑

〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160

春陽会中央病院
高山町在宅介護支援センター
訪問看護ステーションたんぼぼ



⑤ヴィラかのや

〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226

恒心会おぐら病院
居宅介護支援事業所ヴィラかのや
訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
☎099-472-5666 FAX 099-473-3494

病院芳春苑(精神科)
ケアハウスぬくもり
グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑

〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑

〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院



③虹の丘

〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑

〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック



⑤せとうち

〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー

〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート

〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷

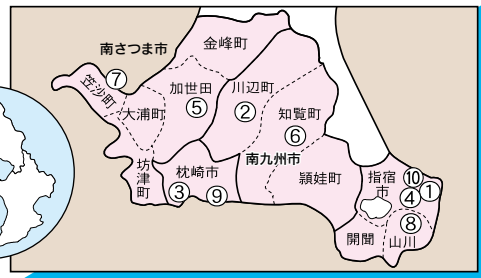
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園

〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑

〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神

〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園

〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井

〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん

〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック



⑦さつま野菊園

〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンベールみどりの風

〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター

〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

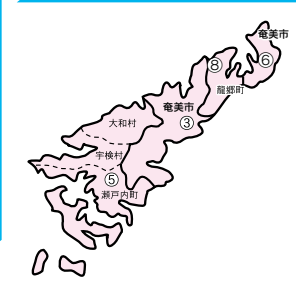
サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート

〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会



時代のスピードの中で、 祝 迫 正 豊

コロナ感染の収束を祈りながら新しい年を迎えた。

薩摩半島南端に初日の出を拝む絶好の場所がある。標高466mの独立峰、カメの甲羅に見える大野岳。東西南北360度が見渡せ、頂上から大隅、薩摩半島が一望できる。眼下には池田湖、開聞岳、東シナ海には硫黄島が浮かぶ。茶畑や芋畑の田園風景は壮大な箱庭のようだ。

頼娃の実家から車で15分くらいで頂上近くまで行ける。ここに近年「茶寿階段」と言う108段の階段ができた。還暦、古希、喜寿、米寿、白寿など節目の数の階段ごとに文字が刻んである。

今年は古希の年齢となる。他人ごとのように信じられない。

振り返れば日本は戦後、高度経済成長で生活が一気に豊かになった。洗濯機は手回しから全自動に代わった。小学生になったころか？ 父親がラジオの前でタオルを振って大相撲の応援をしていた。私もラジオ番組「まぼろし探偵」を楽しみに聞いた。

その後、大野岳の山頂にテレビ中継アンテナが立ち、白黒画面でプロレスを観戦した。1964年の東京オリンピックはカラーテレビで応援した。

通信手段も発達した。ポケットベルから、アンテナがついた携帯、ガラ携、スマートフォンと凄いスピードで変わった。仕事場ではワープロ専用機をマスターしたと思ったら、パソコンへ移った。そして今はSNSやリモートワークなど、追いつけないほどだ。社会はAI（人工知能）時代になった。

どこまで便利さを追い求めていくのか？ じっくり考える時間、選択する時間さえない。便利さやスピードと引き換えに何かと失っているものも多いから心配する。

今回の表紙絵は寒い時期に咲く「紅白の椿」である。重厚になりがちな油絵と違い、水彩・アクリル画はサラッと描きたいと思った。

コンピューターで絵が描ける時代、だからこそ手作りの温かさ、マニュアルの価値が見えてきた。制作、私の仕事は生産性のない領域、世の流れを受けながらも制作を続けたいと思う。

新しい年、令和4年が皆さまにとって良い年になりますようにご祈念申し上げます。



表紙絵 紅白の椿



●作家略歴：祝迫 正豊（いわいざこ まさとよ）

- 1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
- 1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞（最高賞）
- 1992年 第77回二科展「二科賞」（最高賞）、他に会友賞、会員賞
- 1993年 文化庁現代美術展選抜展（全国巡回）
- 2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
- 2013年 日本・スペイン交流400周年記念展招待（マドリッド市）
- 現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、志学館中等高等部非常勤講師、鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇昨秋、映画「MINAMATA」を見ました。水俣病を世界に発信した米写真家の故ユージン・スミスとジョニー・デップが演じました。水俣で暮らし、人々の生活に向き合い患者を撮り続けた姿を描いています。熊本県津奈木町で開かれたユージンの写真展にも足を運びました。指が曲がった胎児性患者や原因企業社長に詰め寄る患者らを撮った白黒写真は胸に迫るものがあります。患者が確認された出水市で記者をされていました。まだ病気の認定を待つ人がいて、終わっていない問題なのだと改めて思いました。

◇今月号の「ろうけん広場」は、駅がテーマです。変化ぶりに驚かされました。県内では駅を中心に街が変わりつつあるようです。（米）

編集委員

米森 俊一（県老人保健施設協会理事）
加治屋 洋（さるびあ苑）
中飯屋 博（フレンドホーム）

ろうけん鹿児島

（令和4年冬号）

通巻106号 無料

令和4年1月1日発行

編集人 米森 俊一

発行人 今村 英仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2
発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会



〒890-0053 鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F
電話099(909)1047 FAX099(909)1049
E-mail:k-token@pc.minc.ne.jp
Website:https://kagoshima-token.or.jp/

高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

理解

虐待が起きる要因は様々です。介護する側・される側双方の不安や悩みを理解することが大切です。

見守り

ご近所に気になる高齢者や介護をしている家族がいたら、ちょっとした声かけをお願いします。

相談

困りごとを抱えている高齢者や家族がいたら、地域包括支援センター等への相談を勧めましょう。



高齢者虐待についてのご相談は、お住まいの市町村
又は地域包括支援センターへご相談ください。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び
地域包括支援センターについては、県
ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

高齢者やその家族に関する相談

【鹿児島シルバー110番】

TEL.0120-165270 又は TEL.099-250-0110

認知症に関する相談

【公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部】

(相談日/月～金 10:00～16:00) ※祝日は除きます

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010(若年性認知症相談窓口)

【若年性認知症コールセンター】

(相談日/月～土 10:00～15:00)

TEL.0800-100-2707